

## コロナ禍による米価下落対策を求める意見書

食料品やガソリン・建設資材などの高騰が家計を圧迫するなか、米価の下落が米農家を直撃しています。米価の下落は新型コロナウイルス感染拡大による需要減少が最大の要因であり、災害と言えるのではないのでしょうか。

奈良県農協の県産ヒノヒカリ買い上げ価格は60キロ当たりで11,500円と昨年を上回る1,800円もの下落幅になり、50年近く前の米価となっています。昨年のウンカ被害に続く米価の下落に対して、多くの米農家は「米作りをやめるしかない」、「米を作らなければ放棄地が増えてしまう」など、危機感が広がっています。

コロナ禍による米の「過剰在庫」分は国が責任をもって市場から切り離すべきで、生産農家に責任を押し付けるべきではありません。

政府による緊急買い入れなどの特別な対策が、いま必要です。

コロナ禍という経験したことのない危機的事態のなかで、農家と地域の農業を守るため、政府・国会に下記の事項を強く要望します。

### 記

1. コロナ禍の需要減少による過剰米の在庫を政府が緊急に買い入れ、米価下落に歯止めをかけること。
2. 政府が買い上げた米を生活困窮者や学生などへの食料支援に活用すること。
3. 国内消費を促すために学校給食に使うなど消費拡大の施策を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和 3年12月15日

大和郡山市議会

提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、  
財務大臣、農林水産大臣